

八尾市社協 ボランティアセンター「ボランティアだより」で
「中ブロックおもちゃ交流会」が紹介される！
SA 八尾・柏原 2021,3,20



サポートやお
ボランティアだより

第85号
2021年3月20日

★発行 社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会、八尾市ボランティア連協会
★住所 〒583-0018 八尾市青山町4-4-18 在宅福祉サービスネットワークセンター内



SA 連協 中ブロック おもちゃ交流会



“みなさんこんにちは。さっそく問題です。なにか人の役に立ちたい。それも無償でかまわない。さてなんでしょう？” わたくしボランティア放送局のレポーター

「興味しんしん子」と申します。今、私はプリズムホールの前に来ています。全面ガラス張りのカッコいい建物です。“えーっと、問題の答え、もうおわかりですね！ボランティアでした。（本誌にすみません！）失礼しました”



今日は、11月28日(土)曇り空、気温12度、例年なら、みなさんはボランティア活動に動んでおられることでしょう。今年は、コロナの感染のため活動できなくなりましたが、ここに来て、ようやく感染も落ち着きを見せ、緊急事態宣言も解除され、世間に活気が戻りつつあります。

さあそんな中、4階研修室で、[シルバーアドバイザー(略称 SA)八尾・柏原]のみなさんが【おもちゃ交流会】を開催されるということで取材させていただくことになりました。さっそく中に入っていきましょう。

【おもちゃ交流会】とは…

どんなことをするのでしょうか？

子供達に、おもちゃの作り方を教えるのでしょうか？

研修室の前に来ています。ドアを開けてみましょう。

中の様子は気になります。ここで、CMをはきみます。

『私達 [シルバーアドバイザー八尾・柏原]の特徴は、メンバーが色々なボランティア資源を持っていて、それを仲間が助け合い、多様な活動をしていることです。その種類は、おもちゃ・押し花・折り紙作品・バルーン・ディスプレイ・マジック・将棋・おもしろ算数教室などがあります。活動は、高齢者施設、八尾市青少年課の依頼により小学生向けの各教室、ふれあいまつりなどです。参加者募集しています。』これでCMおわります。

こちら研修室の中ですが、子どもさんの姿は見当りません。その代わり、シニア世代の方々が男女合わせて26人、八尾市以外からも来ておられます。みなさんが作っているのは、なんでしょう。子ども達に大人気の首振り恐竜(トリケラトプス)です。段ボールの芯や割りばし・折り紙など使います。みなさん和気あいあいのうちに、嬉々として取り組んでおられます。バランスを上手にとるのが、難しいようですね。このように、コロナ渦の中でも、お互い学びあい、スキルを増やしておられます。素晴らしいですね！！

ボランティア活動が、社会の潤滑油の役割を担い、人々に笑顔が戻ってくる日を楽しみに待ちましょう。それじゃー またね(^_^)



出来上がりの作品